

よく勉強する子 心と体を鍛える子 自分も相手も大切にする子



狭山市立堀兼小学校

学校だより

卒業特別号

令和5年3月23日 校長

〒350-1312 狭山市堀兼1234 ☎04-2959-3343 Fax 04-2959-3398

●ご卒業おめでとうございます！！～四十四名の新たな旅立ち～（校長式辞より一部抜粋）

四十四名の卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。先ほど一人一人に手渡した卒業証書は、六年間の小学校での全課程を修了した証であります。それを手にしたみなさんは、一つのことをやり遂げた達成感や、みなさんのことを支え続けたご家族、地域の方々への感謝の気持ちでいっぱいなのではないかと思います。みなさんは六年間という長い期間、本校に通いました。思い返してみてください。小さな体で背中からはみ出しそうな大きなランドセルを背負い、一年生として本校に入学した日から、日々「まなび」「きたえ」互いに「おもしろい」、時には涙し、時には笑い、今この時を共有している仲間と共にこの学び舎で成長してきました。今では大きいと感じていたランドセルも成長して大きくなった体と比べ小さくなったと感じているのではないのでしょうか。皆さんはこの六年間にどんな学びや思い出をランドセルに詰めてきたのでしょうか。友達と過ごした教室、全力で走った校庭、校庭のシンボルツリーくすの木と大王松、難しかった算数の計算、口いっぱい頬張ったおいしい給食、雨の中通った通学路、友達と笑顔であいさつを交わした昇降口、けんかして仲直りした廊下……。まだまだたくさんありますね。そして今日、卒業という旅立ちの日が、みなさんにとって堀兼小学校での最後の学び、そして思い出となります。最後に校長から皆さんに「奇跡・決意・感謝」という詩でメッセージを送ります。

「奇跡」

何千億、何千兆分の一の確率で 僕たち私たちはあなたの下に生まれました
これはうれしいこと

あなたに支えられたこと あなたに愛されたこと たくさんありました
僕たち私たちは出会い そして知り合いました

これは素敵なこと

みんなと語り合ったこと みんなと笑い合ったこと たくさんありました

「感謝」

僕たち私たちは仲間に出会うことで たくさんの悩みを解決してきました
これは素晴らしいこと

仲間が助けられたこと 仲間がそばにいてくれたこと たくさんありました
僕たち私たちはあなたから数えきれないほどの愛をいただきました

これは感謝すべきこと

あなたから教えられたこと あなたから学んだこと あなたから励まされたこと
たくさんありました

「決意」

僕たち私たちは 家族にめぐり会えた奇跡 仲間に出会えた奇跡
あなたに出会えた奇跡を 大切にしながら

一步一步僕にできること

一つ一つ私にできること

きっと・・・

旅立ちの日 あなたの愛を強く感じました



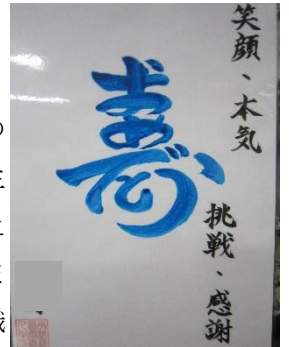
さて、四月からみなさんはいよいよ中学生です。話には聞いていることと思いますが、これまでの小学校での生活に比べて大きく変化することになります。例えば、服装について言えば、中学校では制服を着用します。またその着方をはじめその他学校のルール、教科ごとに替わる先生、部活動や上級生との関係など、小学校の頃とは違った制約があることでしょう。最初は戸惑い、不自由さを感じるかとは思いますが、しかし、様々な制約の中で生活している大人への第一歩として、この変化にうまく適応して、充実した三年間にしてください。

忘れないで！！『いつでも笑顔と本気、いつでも挑戦と感謝、チーム堀兼小』

●令和4年度狭山市立堀兼小学校卒業証書授与式挙行～感謝の心を胸に未来にはばたく～

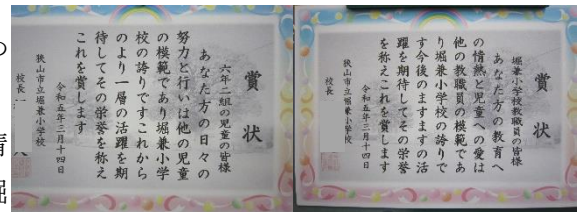
本日、令和5年3月23日（木）、狭山市立中央図書館長 加藤和子 様、狭山市議会議員 田村 秀二 様、本校PTA会長 井原 勇人 様、本校学校評議員の皆様のご臨席を賜り、卒業証書授与式を挙行了いたしました。本来であればお世話になった地域代表の方々をはじめと多くのご来賓の皆様、そして多くのご家族の皆様をお招きし、在校生とともに盛大に行われるべきところですが、本年度もコロナウイルス感染症予防対応のための措置として、卒業生、4・5年生、教職員、保護者という制限の中での挙行となりました。しかしながら、コロナ禍の状況も少しずつ改善され、卒業式の内容が、児童・教職員の一部マスクを外しての参加や国歌・校歌斉唱、卒業の言葉や歌の実施が可能となり、以前の卒業式に戻りつつあることを大変喜ばしく思っております。小学校生活6年間のうち3年をコロナ禍で過ごした44名の卒業生は、厳しい状況の中でも、一人一人が自分の信念を貫き、日々努力を続け、最高学年として頼れる先輩として、後輩たちの良き手本となりました。緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の影響による運動会、社会科見学、ミュージックフェスティバル等の行事の度重なる中止等、数多くの逆境を乗り越えた卒業生はたくましく立派に成長し、笑顔で卒業証書を受け取りました。本日ご臨席が叶わなかった保護者、地域、PTA役員の皆様、日頃より本校の教育活動を支えていただいている多くの皆様に感謝申し上げます。ありがとうございます。

「大好きです。ほりかね。」



●堀兼小学校児童と教職員の活躍の紹介（善行表彰）

3月14日（火）の賞状伝達朝会で令和4年度の1年間を「いつでも本気・笑顔」「いつでも挑戦・感謝」で日々努力を続けた全クラスを善行表彰しました。また、日々努力する児童を「教育への情熱と児童への愛」で支え続けた教職員全員を善行表彰しました。堀兼小学校の児童と教職員は校長の自慢です。



●確実に引き継がれる堀兼小学校の伝統～6年生から5年生へ～

新通学班編成や最終の委員会活動・クラブ活動、なかよし遊びや卒業式練習等を通じて、堀兼小学校の伝統や「いつでも笑顔と本気、いつでも挑戦と感謝、チーム堀兼小」の精神が6年生から5年生に少しずつですが確実に引き継がれていきました。卒業式という最後の行事を共に過ごし、6年生は新たな未来へ希望を確信し、5年生はその立派な6年生を見習い、より良い堀兼小学校を創って行こうと強く決意したことと思います。6年生今までありがとう、5年生これからもよろしく。

